学校番号	３０４

令和３年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	『最新現代社会』新訂版　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

新聞記事やビデオ教材等を使用する授業もある。生徒が意欲的に現代社会の問題に興味を持つようにしたい。「現代社会の授業」と「現代社会」が密接に関係していることを理解してほしい。日常的にさまざまなメディアを通じて「現代社会」に触れていけるようになることをめざす。

2　学習の到達目標

現代社会とそこで生きる人間について、広い視野に立って理解を深める。現代社会の基本的な問題について、主体的に考えて公正に判断する力や、人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代社会の基本的問題に対する関心を高め，意欲的に課題を追求するとともに，社会的事象を総合的に考察しようとする態度と平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加する態度を身に付けている。	現代社会の基本的問題を見いだし，社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って考察し，様々な立場を踏まえ公正に判断して，その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し，有用な情報を適切に選択して，効果的に活用して学ぶ方法を身に付けている。	現代社会の基本的問題と人間の在り方生き方とに関わる基本的な事柄や，学び方を理解し，その知識を身に付けている。
評価方法	学習、作業・課題プリントへの取り組み態度を見る	〈夏休みの課題〉 授業中のありさま	〈夏休みの課題〉 授業中のありさま	考査点と小テスト 指名と回答
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定とする。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	第1部:わたしたちの生きる社会 第2部:現代の社会と人間	・現代社会における諸課題，特に生命，情報，環境を扱う中で，社会の在り方を考察する基盤としての幸福，正義，公正などの枠組みついて理解する。 ・生命，情報，環境などを中心に現代社会に対する関心を高め，いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚する。 ・生命，情報，環境などを中心とした現代の諸課題をどのように解決するのか，どうあるべきか，自分なりの考えを持つ。 ・生涯における青年期の意義を理解する。 ・自己理解を進め，自己形成の課題を考察し，勤労観・職業観を含め，どのように社会参加を果たしていくのか，など自らの人間としての在り方生き方について考察する。 ・伝統や文化が日常生活に与える影響に着目し，現代社会における青年の生き方について自覚を深める。	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	ａ：現代社会の諸課題に対する関心を高め，それらを意欲的に追究し，自己の生き方と関連させながら考察しようとしている。 ｂ：現代社会の諸課題について，幸福，正義，公正などの観点から多面的多角的に考察し，いかに生きるかについて公正に判断して，その過程や結果を適切に表現している。 ｃ：諸資料をメディアを通して収集し，活用している。 ｄ：現代社会の諸課題の現状や課題，社会の在り方を考察する基盤としての幸福，正義，公正などについて理解し，その知識を身に付けている。 ａ：自己形成の課題を意欲的に追究し，自己の生き方について考察しようとしている。 ｂ：自己形成や生き方について，幸福，正義。公正などを用い多面的多角的に考察，その過程や結果を適切に表現している。 ｃ：諸資料をメディアを通して収集し，効果的に活用している。 ｄ：生涯における青年期の意義，社会参加などについて理解し，その知識を身に付けている。	学習・課題プリント

1学期	第1章：現代民主政治と日本国憲法	・人権の保障，国民主権，議会制民主主義，権力分立，法の支配など民主政治の基本原理などについて理解を深める。 ・民主政治における個人と国家について考察する。 ・政治参加の重要性と民主社会において自ら生きる倫理について自覚を深め，主権者としての意識を身に付ける。	○	○	○	○	a：・民主政治の本質や現代政治の特質を意欲的に追求しようとしている。 b：国民主権を原理とする民主政治の本質や現代政治の様々な特質について多面的・多角的に考察し，その過程や結果を様々な方法で表現している。 c：現代政治に関する情報を収集し，適切に活用できる。 d：民主政治の基本的な概念や理論を理解し，その知識を身に付けている。	課題/作業プリント 定期考査
2学期	第2章：日本国憲法の基本的性格 第3章：日本の政治機構と政治参加	・日本国憲法の成立過程及び日本国憲法に定める基本的人権の保障，平和主義について理解を深める。 ・生命の尊重，自由・権利と責任・義務，人間の尊厳と平等などについて考察する。 ・日本の安全を守る安全保障政策について理解するとともにこれからの防衛政策について考察する。 ・日本の行政，立法，司法制度について理解を深める。 ・民主政治における個人と国家について考察する。 ・法や規範の意義や役割について理解を深め，法意識を高める。 ・地方自治の意味を理解する。 ・政治参加の重要性と民主社会において，自ら生きる倫理について自覚を深めさせ，主権者としての意識を身に付ける。	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	a：主権者として憲法成立過程と基本的人権，平和主義の内容を意欲的に追求しようとしている。 b：人権問題，安全保障を多面的に考察し，根拠をわかりやすく表現している。 c：人権や安全保障の時事的な事象を収集し，適切に活用できる。 d：憲法が普遍性を持つことから，人権が生まれながらの権利であること，他者の権利の尊重を理解，知識を身に付けている。 a d：平和主義，安全保障について理解，その知識を身に付ける b：現代政治への関心が高まり，主権者意識が身に付いている。 c：政治について考察し，政治の在り方を公正に判断し，その結果を適切に表現している。 d：主権者として判断に必要な情報を適切に選択し，活用している。 d：日本の政治制度について理解し，その知識を身に付けている。	課題/作業プリント 夏期課題

2学期	第1章：現代の経済社会 第2章：日本経済の特質と国民生活	・現代の経済社会の変容について理解を深める。 ・市場機構の機能と限界を理解させ，市場の問題点を考察する。 ・個人や企業の経済活動における役割と責任について考察する。 ・経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連について考察する。 ・政府の役割と財政，租税，金融について理解を深めさせ，日本の経済政策の方向性を考察する。 ・日本経済の現状がどのように成り立っているのか理解を深める。 ・日本経済の現状がどのように成り立っているのか理解を深める。 ・日本の雇用，労働，社会保障について理解を深めるとともに今後の在り方について考察する。	○	○	○	○	a ：現代の日本経済の動向や雇用・労働，環境，社会保障に対する関心が高まり，経済社会の一員の意識が身についている。 b ：経済の特質，経済政策，消費者，労働，社会保障などについて多角的多面的に考察し，様々な立場に立って公正に判断して，その過程や結果を適切に表現している。 c ：日本経済の課題に関する時事的情報を様々なメディアを通して収集している。 d ：市場，政府の経済活動，雇用・労働，社会保障，公害などについて理解し，その知識を身に付けている。	課題/作業プリント 定期考査 冬期課題
3学期	第3部：国際社会と人類の課題	・グローバル化が進展する国際社会の政治を理解する。 ・国際法の意義，民族問題，核軍縮について理解する。 ・国際社会における日本の果たすべき役割や生き方を考察する。 ・国際社会における貧困や格差について理解する。 ・先進国日本の国際社会で果たすべき役割について考察する。	○	○	○	○	a：国際政治，国際経済への関心が高まっている。 b：国際政治，国際経済の課題を多面的多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c：国際政治，国際経済の時事的事象の情報を適切に選択し，活用している。 d：国際政治，国際経済を理解し，その知識を身に付けている。	課題/作業プリント 定期考査

3学期	第3部：共に生きる社会をめざして	持続可能な社会の形成に参画するという観点から課題を追求する活動を通して，現代社会に対する理解を深めるとともに，現代に生きる人間としての在り方生き方について考察を深める。	○	○	○	○	a：・持続可能な社会の形成に対する関心を高める。 b：持続可能な社会に参画するという観点の課題を多角的多面的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c：課題を探求するのに必要な情報を適切に選択し，効果的に活用している。 d：課題を追究するための方法について理解し，その知識を身に付けている。	課題/作業プリント 論述課題 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:　資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。